

標準化TFにおける取組の報告

令和6年3月18日

取組の概要

建築BIMの将来像と工程表 検討体制について

第10回建築BIM推進会議資料
再掲



○部会を横断する課題・データの利用拡大に資する重要課題について、連携すべきインプットとアウトプットを明確にした個別のTF（タスクフォース）を設置し、社会実装を加速化

BIMの形状と属性情報の標準化

BIMの情報共有基盤の整備

BIMを活用した確認検査の実施

BIMによる積算の標準化

部会 ②

BIMライブラリ
技術研究組合(BLCJ)

- ✓ 建築、構造、設備の属性情報の標準化
(空間、床、壁、天井、防水、外壁は未整備)

部会 ⑤

buildingSMART Japan

- ✓ IFC・ビューア・CDEに係る初期検討
- ✓ 施工段階の属性情報の標準化（一部のみ）

部会 ③

建築確認における
BIM活用推進協議会

- ✓ BIMの生データを用いた審査方法の検討
- ✓ 審査に適したBIMビューアの検討

部会 ④

日本建築積算協会

- ✓ BIMによる積算手法検討
- ✓ 建築物の部位や設備等の分類体系を整備

[維持管理・運用段階におけるデジタル化]は別途検討

【R5新設】

審査TF

[リーダー：部会3]

[BIMによる建築確認の環境整備]

- ・ 確認審査用の属性情報の整理
- ・ 確認申請用IFC等のルール策定
- ・ 確認申請用ビューア・CDEの仕様書作成

【R5新設】

標準化TF

[リーダー：部会5]

[データ連携環境の整備]

- ・ 設計、施工段階での属性情報の標準化
- ・ ソフトウェア間・外部データとの連携方法の確立

- ✓ TFの運営・実施
- ・ 関連部会の主要メンバーで構成
(必要に応じて関係団体)
- ・ ロードマップに基づきワークと役割分担を整理

部会 ①

国土交通省

BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備

- ・ 将来像と工程表
- ・ ガイドライン 等

【R5新設】

戦略WG

各TFの進捗管理、部会①の部長への報告

- ✓ 戦略WGの運営・実施
- ・ 定期的に各TFの進捗を管理

標準化TF 検討体制と各チームのタスク

タスク1：リスト作成

タスク2：名称の整理

タスク3：整合確認

タスク4：パラメーターの入力者決定

タスク5：MET/MATまとめ

設計情報 収集

意匠情報
検討チーム

- ・意匠に必要な属性情報の整理
- ・部位別の情報検討
- ・仕様書情報の検討

構造情報
検討チーム

- ・構造に必要な属性情報の整理
- ・部位別の情報検討
- ・仕様書情報の検討

設備情報
検討チーム

- ・設備に必要な属性情報の整理
- ・部位別の情報検討
- ・仕様書情報の検討

施工・製作情報 収集

施工・製作情報
検討チーム

- ・施工・製作に必要な属性情報の整理
- ・工種別の情報検討

・工種別の情報検討

・工種別の情報検討

I - ①

III - ① (仕様書に関する項目)

タスク1：属性情報項目リスト作成

タスク2：属性情報項目の名称の整理

タスク5：MET/MATまとめ (部位別・工種別)

II - ①ソフトウェア間連携に必要な
ステージ毎に必要な情報の整理

タスク4：属性情報 (パラメーター) の
入力者決定

統合・分析・整理

データ整合
チェックチーム

- ・設計に必要な属性情報と
施工・製作に必要な属性情報
の整合・調整
- ・部位別+工種別の情報検討
- ・IFCルール・中間FFなど
連携手法の検討
- ・外部データの取扱い
についての検討

I - ①

タスク3：部材別、工種別属性項目の整合確認

タスク5：MET/MATまとめ (最終)

II - ① (連携に関する項目)

III - ① (連携に関する項目)

★検討、試案のまとめ

積算情報
検討チーム

- ・概算に必要な属性情報
の整合・調整

III - ②

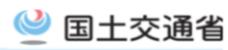
★検討、試案のまとめ

★MET/MATの使用項目整理

標準化TFの活動

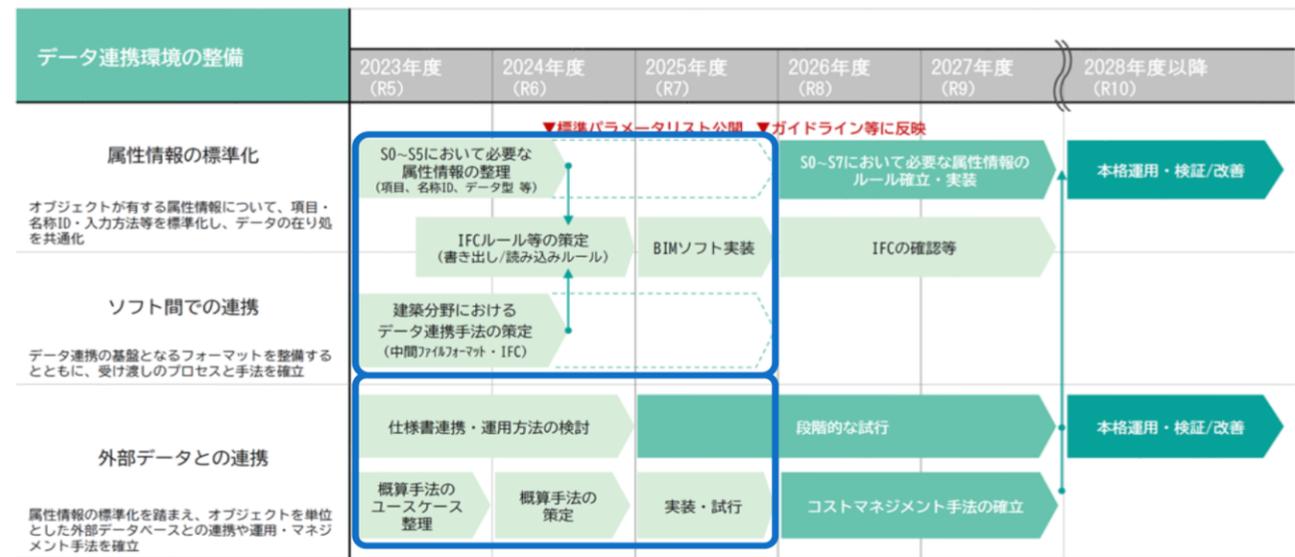
R5.3 公表資料

建築BIMの将来像と工程表 ロードマップ



2. データ連携環境の整備

データ入力ルール等の整備（データの標準化）とデータの受け渡しルール等の共通化を進めることで、設計・施工・維持管理等プレイヤー間でのBIMデータの横断的活用を進め、建築分野における生産性向上を実現する。



■ 標準化の目標

- S2 概算 積算期間の短縮
- S4 精算 積算期間の短縮
- S5 施工 作図労務の短縮

■ 標準化の進め方

- I. 属性情報の標準化
 - S0~S5における部位別・工種別属性情報の整理
 - ⇒ MET/MATの作成
- II. ソフト間での連携
 - オブジェクトが持つべき情報を整理
 - IFC等の定義
 - ⇒ 確認申請用IFC
 - ⇒ 概算用IFC
 - ⇒ 精算用IFC
 - ⇒ ○○用IFC
 - 連携用中間ファイルの定義
- III. 外部データとの連携
 - 仕様書のデジタル化
 - ユースケースによる連携の提示
 - ⇒ BIMを用いた概算手法
 - ⇒ BIMを用いた○○○○

令和5年度の成果	進捗状況
<p>① 標準パラメータリスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進捗はリストの収集（20%）→名称の整理（40%）→整合確認（60%）、パラメータ入力者の決定（80%）→標準パラメータリスト（MET/MAT）（100%）とされており、全体では78.5%（58.9%）であり、その内訳は、意匠：65.6%（41.8%）、構造：90.0%（80.0%）、設備：87.0%（76.0%）、施工・メーカー：71.6%（37.8%）である。 ※ 括弧内は前回WG（R6.1.31）における進捗状況
<p>② 標準パラメータリストの定義</p>	<ul style="list-style-type: none"> 標準パラメータリストを定める対象は、意匠（41種）、構造（11種）、設備（31種）のBIMオブジェクト別に定める方針が示されているが、その詳細は検討途上である。 あわせて、設計段階のBIMオブジェクト別の情報を、施工段階（メーカー含む）に情報伝達するユースケースを想定し、BIMオブジェクト別の属性項目情報を工種別の属性項目情報に整理したリストも整理する方針が示されているが、その詳細は検討途上である。 リストに定める事項は、コード、ID、分類、属性項目名、入力タイプ、入力例、説明、利用場面とする方針が示されている。
<p>③ 用語・ID・コード体系</p>	<ul style="list-style-type: none"> 標準パラメータリストに定める用語（単位系、属性項目名、属性項目情報に使用する用語）のルールについて、検討途上である。 ID・コード体系について、検討途上である。
<p>④ ソフト間での連携 （中間ファイルフォーマットの検討）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設計段階の情報を、施工段階（メーカー含む）に情報伝達するユースケースを想定した場合の中間ファイルフォーマットを対象に検討を進めており、その詳細は検討途上である。
<p>⑤ 外部データとの連携 （仕様書連携、概算手法のユースケース整理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度において検討は行われていない。

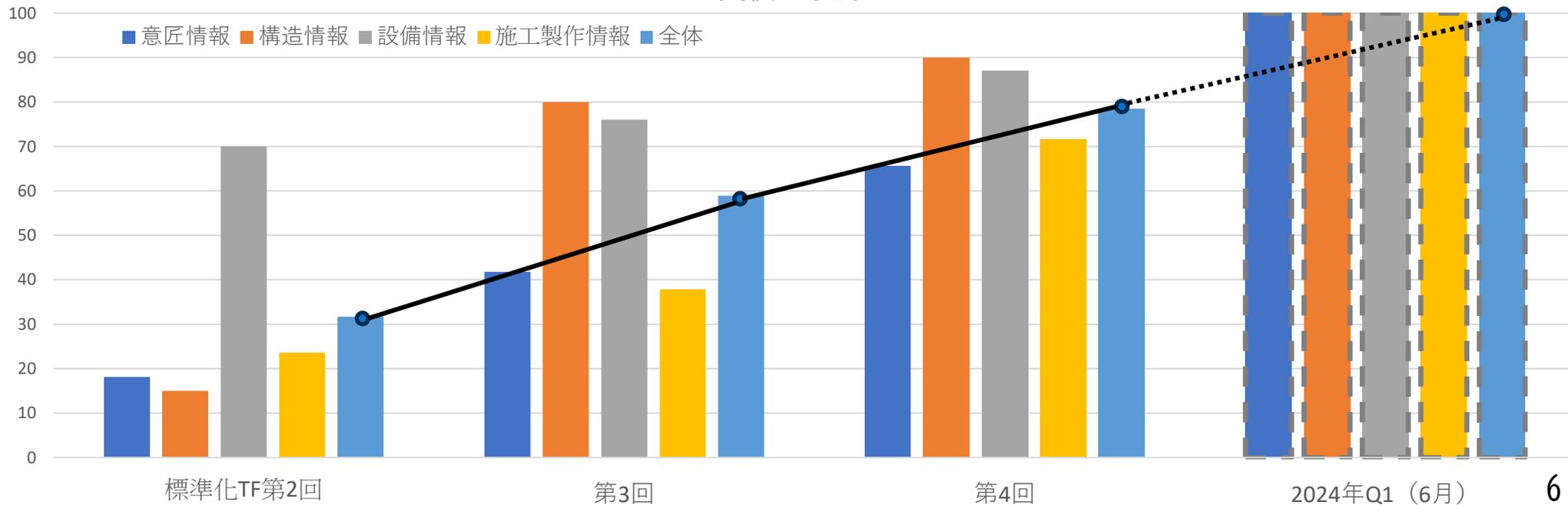


- 令和5年度の成果を踏まえ、標準パラメータリストの公開等に向けて、今後必要となる具体的な成果や工程検討課題を精査して戦略WGに報告すること。
- 標準パラメータリストの公開にあたっては、その位置づけや、利用方法もあわせて公開すること。

① 標準パラメータリスト

	意匠情報	構造情報	設備情報	施工・製作情報
進捗 (%)	65.6	90.0	87.0	71.6
全体進捗 (%)	78.5			

実績と予測



標準パラメータリストの全体像

後工程の効率向上と、人為的な入力ミスを防ぐために、設計から積算、施工、製作にデジタル連携する仕組みを構築する。具体的には、設計者が作成する部位別の情報を、積算、施工、製作が必要とする工種別の情報を標準パラメータリストとしてまとめ、各々の項目の紐付けを行う

標準化TF 標準パラメータリスト

部位別の検討(オブジェクトベース) 部会2(BLCJ)・設計三会・JSCA・設備技術者協会などの既往検討結果反映

基礎部分	躯体部分	外装部分	内装部分	建具部分	階段部分	EV部分	ユニット部分	電気部分	機械部分	衛生部分											
部分を跨いだ共通属性																					
部分内の共通属性																					
部位		外壁	屋根・防水	床	柱	間仕切り壁	天井	ドア	窓	シャッター	カーテンウォール	外部階段	内部階段	手すり	常用	荷物用	住設機器	仕上ユニット			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
部位ごとの属性																					

部位別

一般共通事項

仮設工事	土工事	地業工事	鉄筋工事	コンクリート工事	鉄骨工事	コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事	防水工事	仮設工事	石工事	タイル工事	木工事	屋根及びい工事	金属工事	左官工事	建具工事	カーテンウォール工事	塗装工事	内装工事	ユニット及びその他の工事	排水工事	舗装工事	植栽及び屋上緑化工事
------	-----	------	------	----------	------	--------------------------------	------	------	-----	-------	-----	---------	------	------	------	------------	------	------	--------------	------	------	------------

工種別

工種別検討(公共建築工事標準仕様書(建築工事編)) 部会5(bSJ)・BIMコンソーシアム・建産協などの既往検討結果反映

【課題】 後工程でも部位別を用いた方が取扱いしやすいものも存在する

各タスクの内容について

タスク1：リスト作成

タスク2：名称の整理

タスク3：整合確認

タスク4：パラメーターの入力者決定

タスク5：MET/MATまとめ

タスク1

パラメータリスト項目の収集
収集方法・取りまとめ方針は各チームの方針に従って行う
([パラメータリスト収集定義](#)の資料を参照)

タスク2

【意匠・構造・設備】情報検討チーム
属性情報項目の名称の整理
各パラメータリスト項目名称をルールに従って見直しを行う

【施工メーカー】情報検討チーム
メーカーごとの独自名称があれば名称のマッピング作業を行う

タスク3

【整合チェックチーム、積算情報検討チーム】
意匠・構造・設備・施工メーカー情報検討チームから収集されたパラメータリストを部位・工種の分類の観点から整合確認を行う

タスク4

S2～S5までの各フェーズで誰が・いつ入力するかを検討し、パラメータの入力者を決定する

タスク5

MET/MATまとめ（部位別・工種別）

共通の最終フォーマットに従ってロングリストを整理、報告書としてまとめる

※最終フォーマットについては検討中

② 標準パラメータリストの定義

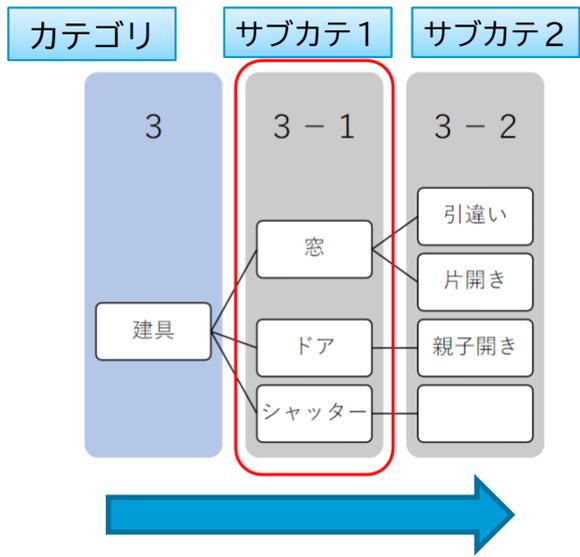
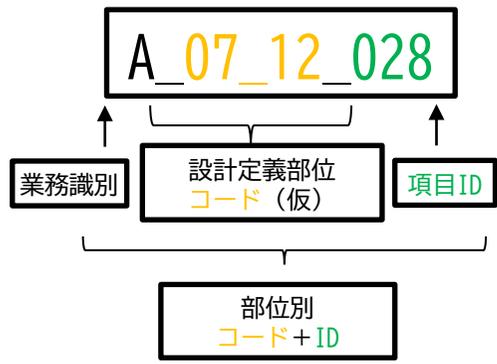
各チームパラメータリスト収集の定義

チーム名	パラメータリストの取りまとめ方法
意匠情報検討チーム	設計図書及び図面作成に必要なパラメータを収集
構造情報検討チーム	解析結果から決まるパラメータ項目及び構造図作成に必要なパラメータを収集
設備情報検討チーム	設備機器（A材）の性能を決めるためのパラメータを収集
施工・メーカー情報検討チーム	メーカー下積、製作図作成に必要かつ、製品を特定するために必要なパラメータを収集
積算情報検討チーム	各チームから上がってきたリストを元に概算を求める際に必要なパラメータ項目を精査、チェックを行っている
データ整合チェックチーム	各チームから上がってきたリストを元に部位・工種との関係性を整理し、実用に向けた中間ファイルや方針を議論している

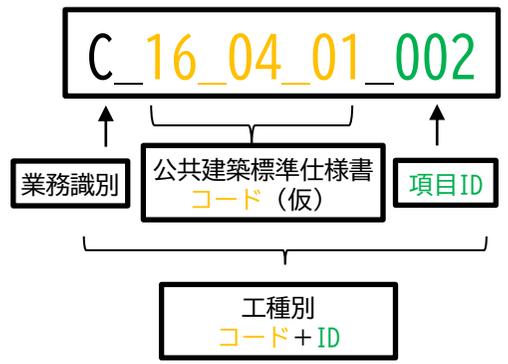
③ 用語・ID・コード体系

コード	カテゴリ・サブカテゴリ・タイプ対して分類される固有の番号
ID	パラメータを特定する際にパラメータ毎に付番される、規則性のない連番

部位に対するコード分類及びIDの例



工種に対するコード分類及びIDの例



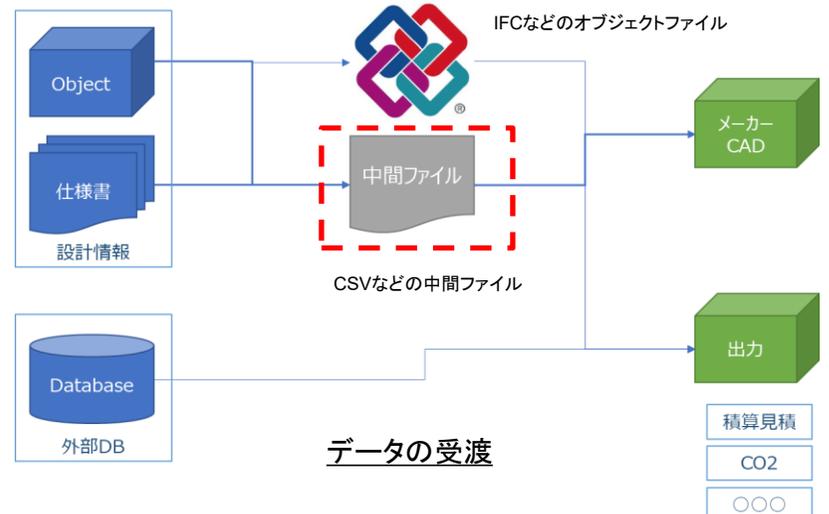
工種・部位によってカテゴリ、サブカテゴリの階層の深さが異なる

例: 建具種類 C_16_04_01_002

施工	工種番号 (章)	工種番号サブ1	工種番号サブ2	パラメータID	値ID
C_	10_	01_	01_	001_	01
例	建具工事 16_ 内装工事 19_	鋼製建具 アルミ製建具	親子・両開扉 引戸	防火区分 枠性能	防火設備 特定防火設備 一般
	:	:	:	:	:

④ ソフト間での連携（中間ファイルフォーマットの検討）

BIMデータの連携においてオブジェクト(モデルデータ)と仕様情報(スペック)に分け、オブジェクトに含めない仕様情報を別途中間ファイル(CSV等)として受け渡しを想定し、各ユースケース及び部位・カテゴリごとにフォーマットを作成する



中間ファイルフォーマット案(鋼製建具の例)

単位: mm(小数点第一位) 点第一位) 点第一位) 点第一位)

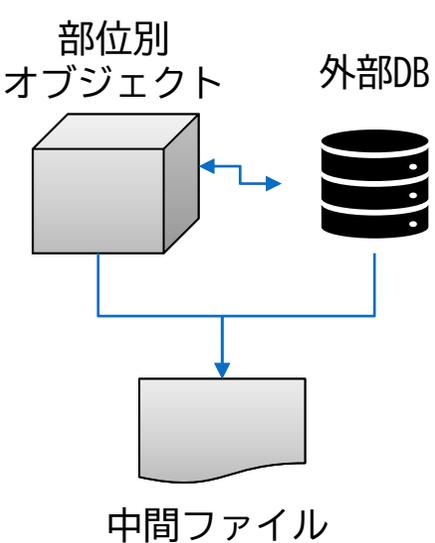
1行目	// 日時 ユーザー名												
2行目	VER	1.0.1	ファイルバージョンを記載する										
	Text	Text	1.0.2等の発生を考慮してテキストとする										
3行目	ABSOL	Xi	Yi	Zi	※3次元原点を定義した場合								
	Text	数字	数字	数字									
3行目	FLOOR	階	見上/見下/他		Xi	Yi	※2次元原点を定義した場合						
	Text	Text	Text		数字	数字							
タイプの開始行	FAMS	ID	ファミタイプ名	建具記号	建具番号	内外区分							
	Text	数字	Text	Text	Text	Text							
寸法定義	SIZE	W1	HH	H	RH	UH	顎W	子W	有効必要W	有効必要H			
	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字			
防火性能定義	BOUKA	防火区分	防煙区分										
	Text	Text	Text										
性能定義	SEINO	枠	耐風圧	遮音	断熱	気密	水密	耐震					
	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text					
躯体開口定義	KUTAI	クリア寸法左	クリア寸法右	クリア寸法上	クリア寸法下	開口幅	開口高さ						
	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字						
枠定義	WAKU	形状	サリ(扉側)	サリ(扉逆側)	見付(扉側)	見付(扉逆側)	下枠見付(扉側)	戸当り見付	戸当り見込	枠上取合い	枠見込	材質	仕上
	Text	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	Text	数字	Text	Text
欄間定義	RANMA	有無	種類	方立見付	パネル(両側)	パネル(扉側)	パネル(扉逆側)	ガラス	ガラスタイプ	ガラスオプション	押煙開閉角度	無目見付	
	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	数字	数字	
下枠・音階定義	KUTSU	枠用/音階有無	形状	材質	仕上								
	Text	Text	Text	Text	Text								
巾木/戸じり定義	HABAKI	巾木	戸じり										
	Text	数字	数字										
扉定義	DOOR	厚さ	意匠(親)	意匠(子)	仕上	材質							
	Text	数字	Text	Text	Text	Text							
扉ガラス定義	GLASS	有無	板厚	MW	MH	ガラス種類							
	Text	Text	数字	数字	Text	Text							
扉ガラス定義	LOUVRE	有無	タイプ	オプション	GW	GH	材質	仕上					
	Text	Text	Text	Text	数字	数字	Text	Text					
自閉装置定義	JIHEI	自閉装置											
	Text	Text											
庇定義	EAVES	有無	庇出寸法										
	Text	Text	数字										
水切定義	MIZU	水切	水切出寸法	材質									
	Text	Text	数字	Text									
吊金物定義	TSURI	吊金物	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
ハンドル定義	HANDLE	種類	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
フランス落とし定義	FRANCE	有無	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
錠前定義	LOCK	種類	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
戸当り金物定義	TOATARI	有無	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
順位調整器定義	JYUNI	有無	メーカー	品番									
	Text	Text	Text	Text									
召し合せ定義	MESHI	形状											
	Text	Text											
丁番定義	HINGE	枚数											
	Text	数字											
タイプの最終行	FAME												
	Text												
タイプの配置行	POST	ID	Xg	Yg	Zg	Ang							
	Text	数字	数字	数字	数字	数字							
データの最終行	END												
	Text												

仮設計項目コード	意匠設計No.	意匠設計(BLCJ)	施工製作(bSJ)	施工製作No.	仮施工項目コード
A_20_02_001	1	企業コード	程度・グレード	1	C_16_04_001
A_20_02_002	2	企業名	建具種類	2	C_16_04_002
A_20_02_003	3	企業URL	建具符号	3	C_16_04_003
A_20_02_004	4	分類コード	内外区分	4	C_16_04_004
A_20_02_005	5	分類グループ	防火区分	5	C_16_04_005
A_20_02_006	6	製品グループ	防煙区分	6	C_16_04_006
A_20_02_007	7	メーカー型番	W	7	C_16_04_007
A_20_02_008	8	型式名称	W1	8	C_16_04_008
A_20_02_009	9	建具種類	必要有効W	9	C_16_04_009
A_20_02_010	10	建具番号	親W(親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	10	C_16_04_010
A_20_02_011	11	内外区分	子W(親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	11	C_16_04_011
A_20_02_012	12	取付場所	HH	12	C_16_04_012

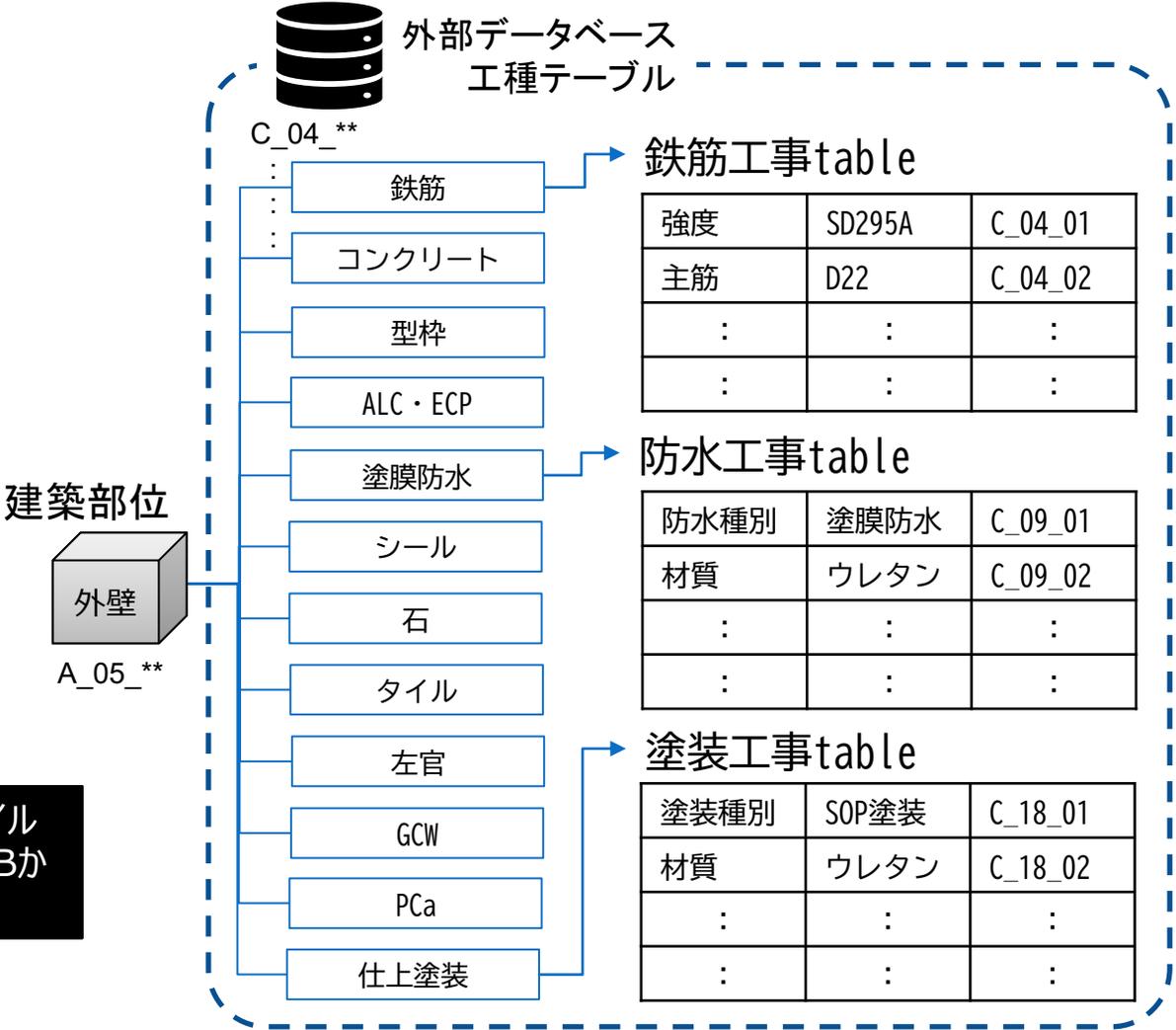
例) ロングリスト

⑤ 外部データとの連携 (仕様書連携、概算手法のユースケース整理)

部位別オブジェクトに内包しないパラメータを外部データベースに含み、工種ごとのテーブルに情報を内包、オブジェクトと紐付ける



連携に必要な中間ファイルは、オブジェクトと外部DBから抽出



部位のパラメータはオブジェクトが内包するパラメータと、工種別のテーブルを読み込むことで構成

今後の検討

2. データ連携環境の整備

ロードマップ
標準化TF検討項目
標準化TF検討対象外項目

詳細検討項目
国交省 部会2※ 部会3
戦略WG 部会4 部会5
※部会2+設計三会
+設備技術者協会

データ連携環境の整備	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
全体スケジュール	効果目標の設定	運用方法の策定	
X. 運用方法の議論	運用方法の議論		本格運用に向けた議論 → 本格運用に向けた準備
ロードマップの実現	I. 属性情報の標準化 ①S0～S5において必要な属性情報の整理 設計に必要な属性情報 確認申請に必要な属性情報 積算に必要な属性情報 施工・メーカーに必要な属性情報（工種別）	①-5標準属性情報リストへの統合・調整 ①部別標準の見直し（積算ユースケースとの擦り合わせ） ②工種別標準の追加（内装工事等の項目の追加） ③標準仕様書、特記仕様書に含まれる属性情報の整理	②S0～S7において必要な属性情報のルール検討 ※ガイドライン等に反映
II. ソフト間での連携	①建築分野におけるデータ連携手法の策定	②IFCルールの策定	③BIMソフト実装
	IFCの仕様調査	IFCルールの検討・策定	
	中間FFの検討	ユースケースごとの中間FFの策定	
III. 外部データとの連携	①仕様連携	運用方法の検討	
	設計図書に含まれる情報の整理	設計情報+施工情報+メーカー情報	
	④概算手法のユースケース	⑤概算手法の策定	
	概算手法のユースケース	概算手法の検討・策定	
		②段階的な試行	
		仕様連携の運用・試行	
		⑥概算手法の実行・手法	
		概算手法の実装・試行	

標準化TF ロードマップ 詳細工程表（～2025）

2. データ連携環境の整備

ロードマップ

標準化TF検討項目

標準化TF検討対象外項目

詳細検討項目

国交省

部会2*

部会3

※部会2+設計三会
+設備技術者協会

戦略WG

部会4

部会5

データ連携環境の整備		2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
全体スケジュール		作業方針検討	効果目標の検討	運用方法の策定
X.運用方法の議論		①-1 運用方法の議論(パラメータリストの活用方法・展開方法(調整中))	①-2 本格運用に向けた議論	①-3 本格運用に向けた準備
ロードマップの実現	I. 属性情報の標準化	① S0～S5において必要な属性情報の整理 (項目、名称ID、データ型 等) ①-1 設計に必要な属性情報(部位別) ①-2 確認申請に必要な属性情報 ①-3 積算に必要な属性情報 ①-4 施工・メーカーに必要な属性情報(工種別)	①-5 標準属性情報リストへの統合・調整(MET) ▼標準パラメータリスト(Ver.1)公開	② S0～S7において必要な属性情報のルール検討 ▼ガイドライン等に反映
	II. ソフト間での連携	① 建築分野におけるデータ連携手法の策定 (中間ファイルフォーマット(FF)・IFC) ①-1 中間FFの調査 ①-2 中間FFの検討 ①-3 ユースケース毎の中間FFの策定	② IFCルール等の策定 (書き出し/読み込みルール) ②-1 IFCの仕様調査 ②-1 IFCルールの検討・策定	③ BIM ※ ソフト実装 ※運用方法によって決定
	III. 外部データとの連携	① 仕様書連携・運用方法の検討 ①-1 設計図書に含まれる情報の整理(工種別・仕様書) ④ 概算手法のユースケース整理 ④-1 概算手法のユースケース整理	①-2 設計情報+施工情報+メーカー情報 ⑤ 概算手法の策定 ⑤-1 概算手法の検討・策定	② 段階的な試行 ②-1 仕様書連携の運用・試行 ⑥ 概算手法の実装・試行 ⑥-1 概算手法の実装・試行

標準BIMモデルが先行した上で、ユースケースが想定され、IFCの仕様調査作業が実施される

建物の標準BIMモデルを審査TFから受領後に検討作業

②次回戦略WGまでに検討の進捗状況を十分に点検し、令和5年度の成果をとりまとめるとともに、令和6年度以降の工程表を作成

検討中

工程表については以下の項目を更新

項目	検討時期	工程
属性情報の標準化	2024年6月	標準パラメーターリストの作成及び概要書を提出
	2024年7月以降	①部位別標準の見直し（積算ユースケースとの擦り合わせ） ②工種別標準の追加（内装工事等の項目の追加） ③標準仕様書、特記仕様書に含まれる属性情報の整理
ソフト間の連携	2024年6月	中間ファイル（案）、垂直連携手法（案）の提出
	2024年7月以降	④一部工種（検討中）の連携仕様作成 ⑤（新規）水平連携（基本設計、実施設計）フローの作成
外部データとの連携	2024年7月以降	⑥BIMを用いた概算手法の策定 （属性の代表値を使用した）

2024年度 標準化TF工程表 (案)

検討中

	2023年	2024年				
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
意匠設計情報検討チーム	確認申請オブジェクト以外の 部位別オブジェクトの整理	MET/MAT	意匠設計に関わる 仕様書のデジタル化 ①部位別標準の見直し（積算ユースケースとのすり合わせ） ②工種別標準の追加と属性項目の整理 ③標準仕様書、特記仕様書に含まれる属性情報の整理			
施工製作情報検討チーム	工種別属性情報の整理					
構造情報検討チーム	免制震等メーカー情報の整理	MET/MAT				
	BLCJ標準とJSCA（S2～S4）の整理					
仕様書のデジタル化						
設備情報検討チーム	BLCJをS2～S4に分解	MET/MAT				
仕様書のデジタル化						
データ整合チェックチーム 積算情報検討チーム	部位別－工種別の相関を整理 中間ファイル案、垂直連携手法案の提出	中間ファイルの定義 / 実装 ④一部工種の連携仕様作成 ⑤（新規）水平連携（基本設計・実施設計）フローの作成				
	BIM概算手法の検討（設計BIMデータ標準策定後）					
		ユースケース別 IFCの定義				
外部DB検討チーム			ユースケース選定			
	外部DBの検討(現在は各社で検討中)(標準化TFで扱うべきかの議論が必要)					

参考（各検討チーム報告）

意匠情報検討チーム報告

意匠情報検討チームの進捗報告

当検討チームのこれまでの課題と対応状況

課題	対応状況
BLCJ、bsj、建築三会など関係団体が公開もしくは検討中の属性項目リストを収集する。	検討会の属性項目のベースとして活用済
建築意匠設計に必要な部位・オブジェクトの全体像をつかむ	当検討会としててのたたき案で進行中
言葉の定義（部位・オブジェクト・工種の違い、属性項目・パラメータ・プロパティの違いなど）	当検討会としててのたたき案で進行中 他の検討チームと共有済
ルールの整理（命名則、単位系）	
属性項目リストのフォーマット	

今月の課題と対応状況

課題	対応状況
属性項目の分類	次頁以降で説明
データタイプ（型）	
ステージ毎の活用場面	
ユースケースの整理	
連携の関係者の役割区分	

意匠情報検討チームの進捗報告

当検討チームの議論の中で出てきた課題

□ 部位・オブジェクトの分類

- 議論を行うべき主体がはっきりしないので、各検討会をまたがるチームが必要なのではないか。

□ 各検討チームのみならず関係団体の属性項目リストは今後も更新されていく

- 情報共有の仕組み(クラウドによる共有など)
- 既に公開されているものとの命名則などの整理への旗振り役が必要

□ 属性項目の数が多すぎると実務での活用が難しい

- グレードを決めるとプリセットされた値(初期値)が決まるなどの対応検討

意匠情報検討チームの進捗報告

検討中ロングリスト

柱	分類			項目名	属性
管理ID (GUID)	大分類	中分類	小分類	属性項目名	データタイプ
	柱_共通	識別情報		符号	文字列
	柱_共通	識別情報		構造	文字列
	柱_共通	配置情報		基準レベル	文字列
	柱_共通	配置情報		基準レベル_オフセット	長さ
	柱_共通	配置情報		上部レベル	文字列
	柱_共通	配置情報		上部レベル_オフセット	長さ
	柱_共通	寸法情報		径	長さ
	柱_共通	寸法情報		X方向幅	長さ
	柱_共通	寸法情報		Y方向幅	長さ
	柱_共通	寸法情報		高さ	長さ
	柱_共通	寸法情報		かぶり厚	長さ
	柱_共通	性能情報	耐火性能	耐火被覆種別	文字列
	柱_共通	性能情報	耐火性能	耐火被覆厚	長さ
	柱_共通	性能情報	耐火性能	耐火性能	文字列
	柱_共通	仕上げ・下地情報		仕上げ_種類	文字列
	柱_共通	仕上げ・下地情報		仕上げ_厚さ	長さ
	柱_共通	仕上げ・下地情報		仕上げ_防火性能	文字列
	柱_共通	仕上げ・下地情報		下地_種類	文字列
	柱_共通	仕上げ・下地情報		下地_防火性能	文字列
	柱_共通	識別情報		内外区分	文字列

構造情報検討チーム報告

取りまとめオブジェクト一覧

- S部材、RC部材、杭、柱脚に関する 45 オブジェクトを整理

柱		梁(ブレース)		基礎	壁	床	杭		柱脚
RC	S	RC	S	RC	RC	RC	場所打ち杭	既成杭	ベースプレート アンカーボルト
角型	H形鋼	角型_3断面	H形鋼_3断面	矩形	3断面	スラブ	場所打ち杭	PHC杭	既成柱脚
丸型	角形鋼管	角型_2断面	H形鋼_2断面	矩形テーパー	1断面	片持ちスラブ		ST杭	
	円形鋼管	角型_1断面	H形鋼_1断面	直角三角形				SC杭	
	溝形鋼		溝形鋼	正三角形				PRC杭	
	山形鋼		リップ溝形鋼	連続基礎				CPRD杭	
	T形鋼		山形鋼					節付PHC杭	
	特殊H形鋼		T形鋼					節付PRC杭	
	角鋼		特殊H形鋼					節付CPRC杭	
	丸鋼		角鋼						
			丸鋼						
			角形鋼管						
			円形鋼管						

検討中ロングリスト

パラメータの分類					標準化TF	入力者 決定者	情報 種類	データ型	フェーズ			
大分類	中分類	小分類	BL CJ	JS CA	項目				S2	S3	S4	S5
RC柱共通_角型												
識別情報			-	①	GUID	③		Integer	○	○	○	
			②	①	符号	設	断	String	○	○	○	
			②	①	種別	設	断	String	○	○	○	
配置情報			-	①	始端節点ID	③	置	Integer	○	○	○	
			-	①	終端節点ID	③	置	Integer	○	○	○	
			-	①	始端オフセット(X)	設	置	Double		○	○	
			-	①	始端オフセット(Y)	設	置	Double		○	○	
			-	①	始端オフセット(Z)	設	置	Double		○	○	
			-	①	終端オフセット(X)	設	置	Double		○	○	
			-	①	終端オフセット(Y)	設	置	Double		○	○	
			-	①	終端オフセット(Z)	設	置	String		○	○	
材料情報	コンクリート		②	①	コンクリート強度	設	断	String	○	○	○	
配筋情報	共通	主筋	②	①	主筋_径	設	断	String		○	○	
			②	①	主筋_強度	設	(基)	String		○	○	
		帯筋	②	①	帯筋_径	設	断	String		○	○	
			②	①	帯筋_強度	設	(基)	String		○	○	
		芯鉄筋	②	-	芯鉄筋_径	設	断	String		○	○	
			②	-	芯鉄筋_強度	設	(基)	String		○	○	
		幅止筋	②	-	幅止筋_径	設	(基)	String		○	○	
			②	①	幅止筋_強度	設	(基)	String		○	○	
			-	①	柱脚定着長(鉛直投影)	設	(基)	Double		○	○	
			-	①	柱脚定着長(余長)	設	(基)	Double		○	○	
			-	①	柱頭定着長(鉛直投影)	設	(基)	Double		○	○	
			-	①	柱頭定着長(余長)	設	(基)	Double		○	○	
			-	①	配筋の切替え位置	設	(基)	Double		○	○	
			-	①	柱脚定着タイプ	設	(基)/断/置	Double		○	○	
			-	①	柱頭定着タイプ	設	(基)/断/置	Double		○	○	

設備情報検討チーム報告

■標準パラメータリストの一覧設備

項目	機種	工種	
機器類	ボイラ	空気調和設備 機器設備	完了
	冷凍機(電動系)	//	完了
	冷凍機(燃料系)	//	完了
	冷却塔	//	完了
	空調機	//	完了
	FCU	//	完了
	EHP	//	完了
	GHP	//	完了
	PAC室内機	//	完了
	全熱交換器	//	完了
	送風機	換気設備 機器設備	完了
	排煙機	排煙設備 機器設備	完了
	ポンプ	空気調和設備 機器設備 給水設備 排水設備 給湯設備 消火設備	完了
	衛生器具	衛生器具設備	調整中
	受水タンク	給水設備	完了
	貯湯タンク	給湯設備	完了
	給湯器	給湯設備	完了

完了後METまとめへ

項目	機種	工種	
器具類	制気口	空気調和設備 ダクト設備 換気設備 ダクト設備	完了
	排煙口	排煙設備 ダクト設備	完了
	ダンパー	空気調和設備 ダクト設備 換気設備 ダクト設備 排煙設備 ダクト設備	完了
	バルブ	空気調和設備 配管設備 給水設備 排水設備 給湯設備	完了
	制御バルブ	自動制御設備	完了
	消火栓	消火設備	完了
	スプリンクラーヘッド	消火設備	完了
	VAV・CAV	空気調和設備 ダクト設備 換気設備 ダクト設備	調整中

追加又は重要度格上

重要度格下

05 機器 300

空調機

■カテゴリ別パラメータリスト

パラメータ名				ステージ						申請上の				入力例		パラメータ値入力者				
BLCJオブジェクト標準Ver.2.0 仕様属性名称				Revit Shared Parameters (Japan RUG)		IFC IfcUnitaryEquipment						S2 S3 S4 S5 S6		注: 機器仕様申請 消明図書 省エネ(標準入力法) 省エネ(モデル建物法) 積算上の要旨 機器表として出図 電気の計画上必要 特記などで入力				G M		【凡例】 Ob:オブジェクト作成者 Md:設備設計者 Mc:設備施工者 Ed:電気設計者 Ec:電気施工者 Ma:メーカー
Items	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ																	
【機器管理情報】				【Equipment management information】																
【設計値_機器仕様情報】				【Design specification information】																
<所要能力情報>																				
1810	SIGH	記号	テキスト	記号	共	文字	Reference	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md	
1815	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Ob,Ma	
1820	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Ob,Ma	
1827	LINEAGE_NAME	系統名称	テキスト	系統	共	文字		○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	Md	
1830	FORMAT	形式	テキスト	形式	共	文字	IfcDescription	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	Md-Mc,Ma	
1835	SP_SPEC	特殊仕様	テキスト	特殊仕様	共	文字	SpecialInstructions	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md-Mc	
1840	SPEC	仕様	テキスト	仕様、仕様2~7	共	文字		○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	Md-Mc,Ma	
1860	D_ACL_AB	設計冷房能力	数字	設計冷房能力	共	冷房負荷	NominalCoolingCapacity	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md	
1865	D_ACL_SH	設計冷房能力_顕熱	数字	設計冷房能力_顕熱	共	冷房負荷		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md	
1870	D-HTS_AB	設計暖房能力	数字	設計暖房能力	共	暖房負荷		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md	
【機器仕様情報】				【Equipment specification information】																
<能力仕様情報>				<Capability specification information>																
2010	CL_AB	冷却能力	数字	冷却能力	共	冷房負荷	LatentCoolingCapacity	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
2032	ACL_SH	冷房能力_顕熱	数字	冷房能力_顕熱	共	冷房負荷	SensibleCoolingCapacity	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
2050	HT_AB	加熱能力	数字	加熱能力	共	暖房負荷	HeatingCapacity	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
2120	DEHUM_AB	除湿能力	数字	除湿量	共	実数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
2140	EFHUM_Q	有効加湿量	数字	有効加湿量	共	実数	HumidityEffectiveness	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
<風量仕様情報>				<Flow rate specification information>																
3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	風量	AirFlowRate	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
3040	SVA_Q	給気量	数字	給気量	共	風量		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
3050	RA_Q	還気量	数字	還気量	共	風量		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	風量	OutsideAirFlowrate	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	
3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	風量		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Md,Ma	

施工・製作情報検討チーム報告

施工・製作情報検討チーム進捗状況

全体進捗状況：71.6%

名前	↑ ステータス	担当者	進捗状況	最終変更日	重要度
1	< 標準化TF 施工製作情報検討チーム			2023/12/21	
2	> 02_仮設工事	足友 足立 友和	67%	2024/02/26	
10	> 03_土工事	阿部 阿部信夫	67%	2024/02/26	
25	> 04_地業工事	暫定版 (完了)	84%	2024/02/26	
33	> 05_鉄筋工事	暫定版 (完了)	84%	2024/02/26	
40	> 06_コンクリート工事	暫定版 (完了)		2024/02/26	
47	> 07_鉄骨工事	暫定版 (完了)	84%	2024/02/26	
55	> 08_CB、ALCパネル及び押出成形セ	阿部 阿部信夫	67%	2024/02/26	
63	> 09_防水工事	仲嶋 仲嶋 裕亮 SC BIM...	67%	2024/02/26	
92	> 10_石工事	足友 足立 友和	67%	2024/02/26	
100	> 11_タイル工事	足友 足立 友和	67%	2024/02/26	
108	> 12_木工事	足友 足立 友和	67%	2024/02/26	
123	> 13_屋根及びひとい工事	吉大 吉川 大和ハウス	67%	2024/02/26	
108	> 12_木工事	足友 足立 友和	67%	2024/02/26	
123	> 13_屋根及びひとい工事	吉大 吉川 大和ハウス	67%	2024/02/26	
138	> 14_金属工事	吉大 吉川 大和ハウス	67%	2024/02/26	
146	> 15_左官工事	仲嶋 仲嶋 裕亮 SC BIM...	67%	2024/02/26	
161	> 16_建具工事	阿部 阿部信夫	84%	2024/02/26	
169	> 17_カーテンウォール工事	阿部 阿部信夫	67%	2024/02/26	
177	> 18_塗装工事	仲嶋 仲嶋 裕亮 SC BIM...	67%	2024/02/26	
185	> 19_内装工事	齋藤 齋藤 健太	67%	2024/02/26	
249	> 20_ユニット及びその他の工事	仲嶋 仲嶋 裕亮 SC BIM...	84%	2024/02/26	
264	> 21_排水工事	阿部 阿部信夫	67%	2024/02/26	
272	> 22_舗装工事	齋藤 齋藤 健太	67%	2024/02/26	
336	> 23_植栽及び屋上緑化工事	齋藤 齋藤 健太	67%	2024/02/26	

<進捗状況概要>

- ・公共工事標準仕様書の分類に基づき、全22工種のうち、構造チーム・設備チームで取り扱うものを除き、18工種を対象とした。
- ・ヒアリング対象3工種を選定し、木材・PCCW・ECPメーカーに加え、日本建材・住宅設備産業協会の協力を得て、（窓・CW・住設機器・ガラス・ボード・耐火材）ヒアリングを行い、属性情報リストに反映。
- ・対象18工種の属性情報リストを、統合チェックチームに提供済み。
統合チェック後、MET・MAT検討を予定。
- ・統合チェックチームの作業中、各工種のサブカテゴリ属性情報リスト整備・マニュアル整備などを協議予定。

積算情報検討チーム報告

標準化TF(20240229) 積算情報検討チーム

■本年度の積算情報チーム（建築）の検討内容のまとめ

本年度のまとめ

A. 建築工事の内の一部のロングリスト（躯体工事関係、建具、昇降機）において、S2段階での概算活用方法の可能性について検討をした。その検討を通して、以下の前提条件の確認が必要と思われる。

- ①.ロングリストは、基本的にBIMモデル内の1オブジェクトにつき1ロングリスト
- ②.BIMモデル内のオブジェクトと、ロングリストは別々での管理を想定。
- ③.BIMモデルデータに、全てのロングリストの情報を盛り込むことは考えていない。
（例えば、鉄骨オブジェクトの数量（重量）に関する情報はロングリストには記載されていない。
又、施工計画に関する情報は含まれない。）
- ④.全ての建物オブジェクトのロングリストを作成するわけではない

B. 概算ユースケースの検討方針

- ⑤.部分的な概算算出の為の、BIMデータ・ロングリストの活用方法を検討する
⇒③④が主な理由
- ⑥.BIMオブジェクトデータ、ロングリスト、双方のどのデータが概算に用いることができるか、整理して検討する必要がある。

データ整合チェックチーム報告

各チーム部位・工種一覽

意匠設計	45	構造設計	64	設備設計	30	施工・製作	158
地上構造	柱 梁 ブレース 床スラブ 階段・スロープ 免震装置	RC柱	柱共通 RC柱_標準 RC丸柱_標準	設備	ボイラ 冷凍機 (電動系) 冷凍機 (燃料計) 冷却塔 空調機	2章 仮設工事	1節 共通事項 2節 縄張り、遣方、足場等 3節 仮設物 4節 仮設物撤去等
内外装	壁 カーテンウォール 屋根 パラベット 庇 屋外緑化 天井・軒天	S柱	S柱共通 S柱H形鋼 S柱角形鋼管 S柱鋼管 S柱溝形鋼 S柱山形鋼 S柱T形鋼		FCU EHP GHP 室内機 全熱交換器 送風機 排煙機 ポンプ	3章 土工事	1節 共通事項 2節 根切り等 3節 山留め
付属	床 防水 断熱 耐火被覆	RC梁	RC梁共通 RC梁3断面 RC梁2断面_標準 RC梁1断面_標準		衛生器具 受水タンク 貯湯タンク 給湯器	4章 地業工事	1節 共通事項 2節 試験及び報告書 3節 既製コンクリート杭地業 4節 鋼杭地業 5節 場所打ちコンクリート杭地業 6節 砂利、砂、捨コンクリート地業等
開口部	目地 シール 仕上 ドア 窓 シャッター	S梁	S梁共通 S梁H形鋼3断面_標準 S梁H形鋼2断面_標準 S梁H形鋼2断面_標準 S梁H形鋼1断面_標準 S梁H形鋼1断面_標準		制気口 排煙口 ダンパー バルブ 制御バルブ 消火栓	5章 鉄筋工事	1節 共通事項 2節 材料 3節 加工及び組立 4節 ガス圧接 5節 機械式継手 6節 溶接継手
空間	部屋 エリア・領域		溝形鋼		スプリンクラー	6章 コンクリート工事	1節 共通事項 2節 コンクリートの種類及び品質 3節 コンクリートの材料及び調合 4節 レディーミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬 5節 コンクリートの品質管理 6節 コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め 7節 養生
その他機器等	ユニット 衛生器具 昇降機 サイン 雨水・樋		リップ溝形鋼材 山形鋼 T形鋼 特殊H形鋼 角鋼、FB 丸鋼	電気	配電機器 照明器具 通信機器 防災機器 自家発電設備 太陽電池		



部位一工種 関係整理
仮コード・ID付番作業

